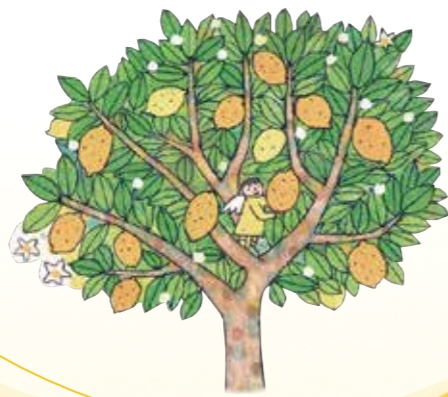




“あなた”に
会えて良かった。

特別養護老人ホーム レモンの樹 東海

Recruiting Information



Lemon
<https://lemon-swc.com>



Instagram
@LEMONNOKI_TOKAI



れもん
社会福祉法人 檸檬



れもん
社会福祉法人 檸檬



「あなたに会えて良かった」
 入居者様にそう言われた日のこと、
 忘れません。
 檸檬で見つけた、私の可能性。
 出合いのなかで育みたい。

想い



法人理念

会えて良かった。 人は出合いで人となる。

私たちは愛ある人として、感謝と感動のあるところを創ります。
 利用者とその家族に安心を提供し、働く仲間の豊かな人生の追求と、
 地域の保健・医療・福祉に貢献します。

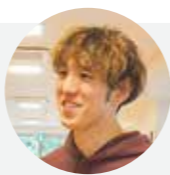


Interview ③

佐々木涼太

2022年 中途入職

子どもとの時間を大切にしながら
働くことができます。



元々保育士を目指し、保育の専門学校に通っていましたが挫折。2〜3年間フリーターをするなかで「やっぱり福祉の分野で働いてみたい。」そう思い、デイサービスや特養を10年ほど経験。その後、一度介護職を離れ工場に半年間勤務しました。ですが、残業ばかり。疲弊するなかで、「人と接する仕事がない、改めて介護をやってみよう」と思うようになり、再就職したのが檸檬です。

入職の決め手は結婚後の新居から近かったこともありですが、施設の雰囲気や綺麗で明るい！いろいろな施設を経験しましたが清潔感もあり、人当たりの良さも一番でした。

育児についても、施設側から提案を頂いたときは、職員のことを想ってくださいているのを感じました。最初の子どもで1ヵ月、次の子で4ヵ月、合計で5ヵ月の育児。子どもの成長を近くで見ることができてよかったです。施設内でも子どもさんがいる職員が多く、子どもに何かあったとき、早退したときも、上司も同僚も嫌な顔をせず対応してくれ有り難かったです。現在も9時〜16時の時短勤務で、子どもとの時間を大切にしながら働くことができます。

Interview ④

北村真優

2019年 新卒入職

「会えてよかった」
この言葉があったからこそ



介護職を選んだのは、自分のやりたいこと、出来ること、社会的に求められていること、条件に合っていたからです。入職を決めたのは、業種説明会のなかで檸檬が一番アットホームでスタッフが楽しそうだったこと、理事長のお人柄、そして「会えてよかった」という理念が素敵と思ったからです。

介護未経験・社会人未経験で入職し、最初は右も左もわかりませんでした。というより「わからないことが、わからない」という状況で、がむしやうでした。それでも頑張れたのは、入職から1年経った頃のユニット移動のとき、『あなたが居なくなると困る』『やだ、寂しくなるね』『あなたに会えてよかったよ』と入居者様から言ってもらえ、こんなにも早く理念の「会えてよかった」が聞いたことに感動したからです。

ちょうど施設開設時期の入職ということもあり、新卒入職1年目の12月に、ユニットリーダーに選ばれたことも大きなチャレンジになりました。振り返ると大変なことも多かったですが、「私の選択は間違いではなかった。真面目に続けることでもっと成長していくんだ。」と改めて思っています。



明るく清潔感のある職場環境も檸檬の魅力



職員同士の助け合いを大切にしています

インタビュー
私がいる意味
私の居場所。

介護職を選び、檸檬で働くことを決めた理由はそれぞれですが、私たちはここに居ます。ここで人に会い、新しい自分と出会いました。

Interview ①

岩田和恵

2019年 新卒入職

職員や入居者様など多くの人たちに
支えられ今の私があります。



家族の中で介護の知識がある人がほしいと思い、大学で介護を専攻。入職を決めたのは、合同説明会のとき「檸檬」の話だけが印象に残ったこと、そして大学の文化祭にも来てくださり、自分のことを見てくれていると感じ嬉しかったからです。

入職2年目「とにかく何でも全部自分でやらなければ…」と、出来ないことを人に言えずにいた頃、服薬介助が上手く出来ず、入居者様からお叱りを頂戴したことがあります。そのときユニットリーダーに助けてもらい『出来ないことはお互い様だから言ってくれたらいいから大丈夫。逆に言われなかったらどう？』と仕事に対する姿勢を教えてください、お互い助け合いながら仕事をしていることを理解しました。

また、あるとき、ご本人の意思を尊重して、十分に対策した結果、自力で車椅子へ移乗できるようになった入居者様がいらっしゃいました。そのとき言われた「ありがとう」の一言は、心から嬉しかったです。

介護は確かに大変ですが、職員同士の助け合いや「ありがとう」の言葉が大きな力になります。日々、職員や入居者様など多くの人たちに支えられて今の私があります。

Interview ②

天木里奈

2020年 中途入職

入居者様と過ごすことが
楽しいと思えるようになりました。



小さい頃からお年寄りの近くで生活し、おばあちゃん子であったことから、介護業界に進むことを決めました。

最初は従来型の特養に就職しましたが、キツくてやることが多い…生活支援をしているわけだから当然だけ大変でした。結婚し、従来型の特養を退職。従来型ではない「介護施設を探していたところ、ユニット型の檸檬」を見つけ入職。介護のイメージが変わりました！

従来型は排泄や食事の時間が決まっていた入居者様への拘束もありました。檸檬は排泄の時間も自由。拘束がなく入居者様が生き生きしています。だから入居者様と過ごすことが楽しいと思えるようになりました。

入職して間もない頃、新しい職場で余裕がなく、いっぱい嬉しい時期もありました。けれど、そんなとき、『手伝うことあるなら、手伝うよ』『無理しないでね』と先輩方の優しい言葉に救われ、「自分一人で抱えず、頼ってもいいんだ」と思えるようになりました。

また、介護の研修を通して認知症の症状を勉強したことで、入居者様への理解が深まりました。それは自分自身の成長と心のゆとりを感じることに繋がっています。介護は奥深く、面白さが無限大です。そして檸檬は何でも挑戦できる職場です。



エピソード

『友だちになって』

入居者様 × 介護職員
心のコミュニケーション

2020年4月入職
新海さんのエピソード

新海さんは、高校卒業と同時に「レモンの樹 東海」へ入職しました。

コミュニケーションが重要な介護職ではありませんが、「子供の頃から自分からは話しかけることが出来ず、コミュニケーションを取るのが大の苦手だった。」と言います。

けれど、介護職を通し、いつしか「新しい自分の一面」に出会います。

『ありがとうございます。嬉しいです。』込み上げる嬉しさを感じながら、まっすぐにお返事しました。それは、ちょうど習字のお手本を早川様に差し上げたときのことでした。

幼い頃から親しんできた「習字」。その「習字」を通し、友だちが出来、心が通じ合いました。それは、忘れられない大切な体験となりました。『友だちになってくれない？』あの優しい笑顔とともに、この言葉は、今でも心の奥底で力になってくれてます。

新しい自分の一面

コミュニケーションを取るのが苦手だった上、自己肯定感も低かったという新海さん。以前は、積極的に自分のことを話すことはなかったそうです。けれど、早川様をはじめ、様々な入居者様のお話を傾聴するうちに、いつしか心が開き、自分のことを話すようになっていたのだそう。あくまでも入居者様のお話を傾聴することを第一に、その上で自分のことをお話する。そうしているうちに、「自分の話をするのは悪いことではない。」そう思えるようになって来たそ

Message



新海ひかる

2020年 新卒入職

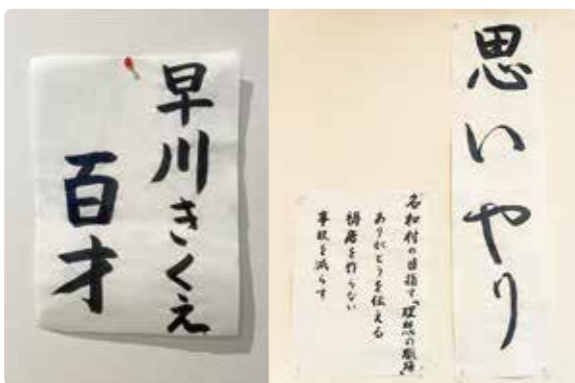
私のように苦しいことや大変なこともあると思いますが、苦しいことがあったらその想いを、感情を味わってください。その苦しみが糧になり、いつか未来の自分の成長に繋がると私は信じています。



入浴前の酸素濃度測定も丁寧に



入居者様と目線を合わせてお話す新海さん



新海さんが書いた、お手本(左)と現在所属するユニットの目標(右)



早川きく江様 100歳のお祝いでは、苦手な甘いケーキを笑顔で召し上がってくださいました

なぜ私だけ……

『新海さんは、ここがいいんじゃないか……就職担当の先生からの勧めでレモンの樹へ入職した新海さん。高校2年生のときに介護施設の職場体験をしたこともあり、「介護は大変」という認識はありました。けれど入職早々に辛い経験にぶつかるとは思ってもみませんでした。』

「入居者様のお一人が、なぜか自分だけに心を開いてくださらない。」
：随分と悩みました。何より苦しかったのは、「どうして私だけ……私だけに心を開いてくださらないのだろう……」ということ。

結局その入居者様は、最後まで心を開いてくださることなく、施設を去ってしまわれました。それは、苦しい経験として今も残っています。けれど、「あの苦しい経験があったからこそ、今、他の入居者様とコミュニケーション出来ている。」そう語ってくれました。

友だちになってくれない？

心を開いてくれない入居者様のこととで思い悩む一方、新海さんは、初め

て所属したユニットで早川様という入居者様と出会いました。

初めて会った日、自己紹介でお互い「習字が好き」という共通点があることを知ります。書道、生け花、散歩と趣味が多く、とても優しいお人柄の早川様。入所される前は生け花の先生をされていた。口癖は『お仕事ちょうだい』。よく一緒に洗濯物を畳んだり、おしぼり作りをしました。『入居者様のお話を聴くことも仕事だよ。』そう教えてくれた先輩たちを見習い、隣に座りお話を聴きました。目線を合わせ、早川様のお声の大きさに合わせ話しました。ときには、ベッドに腰掛けている早川様の隣に一緒に腰を下ろして、お話ししたりもしました。

早川様は、アルツハイマー型認知症で短期記憶でしたが、常に、「早川様がどうされたいか」を優先し考え過ぎました。トイレも近かったのですが、排泄支援も、「ご本人が行きたいときにお連れしていました。」

半年から1年が過ぎ、お互いに信頼関係が築けたかなと感じた頃のこと。『友だちになってくれない？』早川様にそう言われました。

ケアマネジャー

中川 保

2022年 中途入職

ケアプランの作成とともに、関係者への連絡や介護保険利用に関する手続きをしています。入居者様が必要な支援やケアを受け、生活上の課題に取り組みながら安心と生きがい、楽しみを持って過ごせるようにケアプランを作成しています。

[所属する委員会]

事故再発防止委員会／楽しい委員会／看取りのあり方委員会 など

ひとこと

ケアプランは入居者様が施設で生活する上で、希望や夢を叶える土台となります。入居者様の未来は、これにかかっていると一言では無いと思って業務に取り組んでいます。

生活相談員

水島 由美

2016年 中途入職

入居促進・支援とショートステイの管理をしています。また、入居者様やご家族様からの相談援助や病院からの退院支援も行います。常に施設全体を把握し他職種や外部機関との連携の必要がある為、情報共有と記録が必須です。

[所属する委員会]

感染症予防対策委員会／排せつ支援のあり方検討会／ハラスメント対策委員会

ひとこと

多くの方々と連携して成り立つ仕事なので、感謝を忘れず、いつでも話しかけてもらいやすいようにすることを心がけています。

募集職種 私の職種、私の1日。

私たちの1日1日が、檸檬の介護を支えています。



介護福祉士

岩田 和恵

2019年 新卒入職

食事・排泄・入浴等の日常生活の支援及び、外出支援、看取り支援をしています。ほか、売店(レモンマーケット)運営もしています。常に一番近くで入居者様に寄り添っています。

[所属する委員会]

排せつ支援のあり方検討会

ひとこと

入居者様と生活していく中で一緒に笑いあえることが嬉しいです。また、他のスタッフと共に楽しく仕事ができることが大切だと思います。

ある日のスケジュール



夜勤

21:00～7:00

21:00 出勤、遅番より申し送り、薬チェック、トイレ、陰洗ボトル掃除

21:30 就寝支援

22:30 服薬支援、排泄支援

23:00 排泄支援

0:00 休憩

1:00 巡回、排泄支援

2:00 排泄支援

3:00 巡回、排泄支援

4:00 休憩

5:00 排泄支援

6:00 巡回、排泄支援

7:00 早番への申し送り、退勤



遅番

12:00～21:00

12:00 出勤、早番より申し送り、昼食提供、食事支援

12:30 服薬支援、後片付け

13:00 入浴支援、排泄支援、居室掃除

14:00 排泄支援、おやつ提供

15:00 休憩

16:00 早番より申し送り

17:00 夕食づくり、離床支援

18:00 夕食提供、食事支援、服薬支援

18:30 後片付け

19:00 就寝支援

20:30 後片付け

21:00 夜勤者への申し送り、退勤



早番

7:00～16:00

7:00 出勤、夜勤者より申し送り、朝食づくり、起床支援、排泄支援等

7:30 朝食提供、食事支援

8:00 服薬支援、後片付け、排泄支援

10:00 水分提供、入浴支援、排泄支援、居室掃除

11:00 排泄支援、昼食づくり、離床支援

12:00 昼食提供、遅番への申し送り、休憩

13:00 入浴支援、排泄支援、居室掃除

14:00 排泄支援、おやつ提供

16:00 遅番への申し送り、退勤

※随時コール対応、体調不良等あれば看護師へ連絡。夜勤は看護師へ電話で報告・指示をもらう(オンコール)

介護福祉士モデル年収：3年目一般職 370万円

看護師

原 ルミ子

2021年 中途入職
(看護師経験年数30年以上)

入居者様の健康管理、受診の付き添い、回診の介助を行っています。担当者会議やミニカンファレンスへの参加もします。

[所属する委員会]

衛生委員会

ひとこと

檸檬ではゆったりとした雰囲気の中で、入居者様と関わることが出来ます。特養では総合的な技術と判断力が求められますので、病院で取得した経験を活かします。

管理栄養士

小野田 陽和

2023年 中途入職

入居者様の栄養マネジメント、栄養ケア計画とLIFEの作成をしています。また、デイサービスの食事の調理、特養の食事検品・仕分けや衛生管理も行っています。会議への参加もします。

[所属する委員会]

給食委員会

ひとこと

食事を一日の楽しみにしてくださる入居者様も多いので、ご希望に合った食事提供に努めています。また食事意欲の少ない入居者様に食形態変更後、「おいしい。」と言って頂けると嬉しいです。

機能訓練指導員

奥田 涼馬

2019年 中途入職

入居者様一人ひとりが抱える課題を把握し、機能訓練や生活リハビリの立案をしています。また、車椅子などの福祉用具の選定や介護方法の指導も行っています。

[所属する委員会]

ノーリフティングケア検討会／カインドフルネス検討会／夢を叶えるプロジェクト／排泄支援のあり方検討会／事故防止委員会／感染予防委員会／褥瘡予防委員会

ひとこと

多くの職種が集まって入居者様の暮らしや、やりたいことをサポートできる素敵な仕事です。

ボランティアさんにとっての桜並木カフェとは？

ボランティア仲間の和でつくる、居心地のよい場所です。

いろいろな人との出会いで勇気をもらえ、自分自身の勉強にもなる場所。

同世代の方たちと、つながりを持てる場所。

印象に残る出来事はありますか？

レモンフェスティバル（社会福祉法人檸檬が主催する秋のイベント）

春、カフェから見える満開の桜は毎年印象に残る。

入居者さんとホット東海さん（ボランティア団体）とが、ポッチャをしているところ。楽しそうで、大変良かったです。



桜並木カフェ

ボランティアさんたちの声

一番嬉しかったことは何ですか？

「おいしかったよ。ありがとう」の笑顔。

コーヒーを飲みながら、楽しそうにお話している姿を見ていること。

入居者様と笑顔で会話ができたこと。

「このコーヒーが一番美味しい。」と言って、お客さまが何度も足を運んでくださること。



買い物支援ツアー

利用されている方々の声

名古屋に住む息子はいろいろ気にかけてくれるが、申し訳ない気持ちがあり、自分たちのことはなるべく自分たちでやりたいと思うので利用させてもらっています。

近い将来運転できなくなることや心配しているなかで、町内会の人に誘われ参加したところ、買い物以外にも皆さんと話すととても楽しいです。



買い物へ行く手段がないので、普段は生協に頼っていますが、頼み忘れなどちょっとした買い物にも利用できて有り難いです。

買い物へ行く手段が少ないので、利用出来て有り難い。

免許を返納してから自転車で買い物に行っていました。転倒したのをきっかけに買い物支援を利用するようになりました。

《地域交流 PART1》



桜並木カフェ



桜並木カフェは、地域の皆様が気軽に交流できる場所として、檸檬の法人設立とともにオープンしました。

地域の皆様をはじめ、特養のご入居者様やそのご家族様の憩いの空間となっております。『貴方の笑顔をサロンで！』を合言葉に、現在、26名のボランティアで運営しています。

カフェには地域の皆様の書や絵画が飾られ、ちょっとした文化交流の場にもなっています。また東海市社会福祉協議会の主催で、『傾聴ボランティアによる紙芝居』や『小中学生とのポッチャ体験』などのイベントもときどき催されています。

地域交流

この街に、人に、もっと寄り添いたい。

私たちは、大好きなこの街の一員として、この街に暮らす皆様をもっと笑顔にしたい。そんな思いから、地域のご高齢者様の暮らしをサポートする事業にも取り組んでいます。



《地域交流 PART2》



買い物支援ツアー

レモンの樹東海では、東海市社会福祉協議会からの委託で買い物支援事業を実施しています。「運転免許を返納し、買い物に行くのが不便になった」「足が痛くてお店まで歩くのが大変」「遠くの家族に迷惑をかけたくない」という近隣のご高齢者様に「ご利用頂いております。」

現在は、名和団地の皆様を中心に、皆様のご希望で近隣のアピタ荒尾店様へ月2回の支援を実施しています。食材だけでなく、衣類や百円ショップなどのご利用も出来、充実した買い物が出来るとご好評を頂いています。

